

総合的な学習の時間と カリキュラム・マネジメント

甲南女子大学
教授 村川雅弘



独立行政法人教職員支援機構

目次

- 1 今次学習指導要領と総合的な学習の時間
- 2 総合的な学習の時間と言語活動
- 3 カリキュラム・マネジメントと総合的な学習の時間
- 4 総合的な学習の時間の充実と校内研修

1 今次学習指導要領と総合的な学習の時間

今次学習指導要領改訂の経緯

①育成すべき資質・能力を踏まえた教育目標・
内容と評価の在り方に関する検討会論点整理

(平成26年3月)

②下村文部科学大臣諮問 (平成26年11月)

③教育課程審議会教育課程企画特別部会
論点整理 (平成27年8月26日)

④各教科等・学校種別部会

⑤中教審審議のまとめ (平成28年8月26日)

⑥中教審答申 (平成28年12月21日)

⑦学習指導要領告示 (平成29年3月31日)

⑧学習指導要領実施 (令和2年4月1日～)

1 今次学習指導要領と総合的な学習の時間

将来予測（村川による整理）

○我が国は**災害**のデパート

台風、豪雨、豪雪、地震、津波等、年中どこかで。

○**安全・安心**な日本の危機←サイバー攻撃や多様な人々の到来

○**経済**への不安

○**少子高齢化**の加速

○**仕事の変化**（現在の子どもものの65%は今存在しない仕事に。半数近くの仕事が自動化）など 人工知能に勝るものは？

●新型コロナウイルス感染拡大

1 今次学習指導要領と総合的な学習の時間

総合的な学習の時間 における課題

探究課題 (学習対象)		学習事項	
横断的・総合的な課題 (現代的な諸課題)	地域に暮らす外国人とその人たちが大切にしている文化や価値観 (国際理解)	<ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統や文化とそのよさ 世界の国々の伝統や文化とそのよさ 異なる文化と交流する活動や取組 など 	
	情報化の進展とそれに伴う日常生活や社会の変化 (情報)	<ul style="list-style-type: none"> 多様な情報手段の機能と特徴 情報環境の変化と自分たちの生活との関わり 目的に応じた主体的な情報の選択と発信 など 	
	身近な自然環境とそこに起きている環境問題 (環境)	<ul style="list-style-type: none"> 身近な自然の存在とそのよさ 環境問題と自分たちの生活 環境の保全やよりよい環境 	
	身の回りの高齢者とその暮らしを支える仕組みや人々 (福祉)	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの高齢者とその暮らし 地域における福祉の現状 福祉問題の解決やよりよい暮らし 	
	毎日の健康な生活とストレスのある社会 (健康)	<ul style="list-style-type: none"> 社会の変化と健康の保持 自分たちの生活習慣と健康 より健康で安全な生活 	
	自分たちの消費生活と資源やエネルギーの問題 (資源エネルギー)	<ul style="list-style-type: none"> 生活を支える資源・エネルギー 資源・エネルギー問題と環境 省資源・省エネルギー 	
	安心・安全な町づくりへの地域の取組と支援する人々 (安全)	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域の交通や防災 まちの安心・安全を支える人々 より安心・安全な生活 	
	食をめぐる問題と地域の農業や生産者 (食)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の農業や生産者の現状 食の安全や食料確保と食生活 食をめぐる問題の解決と食生活 	
	科学技術の進歩と自分たちの暮らしの変化 (科学技術)	<ul style="list-style-type: none"> 科学技術の進歩と便利 科学技術の進歩と私たちの暮らし 科学技術をよりよく生活 	
		地域や学校の特色に応じた課題	<ul style="list-style-type: none"> 町づくりや地域活性化のために取り組んでいる人々や組織 (町づくり) 地域の伝統や文化とその継承に力を注ぐ人々 (伝統文化) 商店街の再生に向けて努力する人々と地域社会 (地域経済) 防災のための安全な町づくりとその取組 (防災)
	関心に基づいた課題	<ul style="list-style-type: none"> 実社会で働く人々の姿と自己の将来 (キャリア) ものづくりの面白さや工夫と生活の発展 (ものづくり) 生命現象の神秘、不思議、すばらしさ (生命) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域で働く人の存在と働くことの意味 地域社会を支える様々な職業や機関 自分自身のよさへの気付きと将来展望 など ものづくりの面白さとそれを生かした生活の豊かさ ものづくりによる豊かな社会と暮らしの創造 快適で自分らしい生活環境を整える活動 など 生命現象の神秘や不思議、すばらしさ かけがえのない存在としての自分への気付きと自尊心 自他の生命を尊重し大切に取る取組 など

図3 探究課題と学習事項の例 (小学校)

1 今次学習指導要領と総合的な学習の時間

国内外の様々な学力観

「生きる力」 (1996)
「PISA学力」 (2000～)
「キー・コンピテンシー」 (2002)
「人間力」 (2003)
「社会人基礎力」 (2006)
「学力3要素」
「総合的な学習」 (2008)
「学士力」 (2008)
「基礎的・汎用的」 (2011)
「成人力」 (2013)
「21世紀型能力」 (2013)

問題解決力

**対人関係
力・協調
性・コミ
ニユケー
ション力**

**自律性・主
体性**

1 今次学習指導要領と総合的な学習の時間

育成を目指す資質・能力の3つの柱

学びを人生や社会に生かそう
とする「学びに向かう力や
人間性」の涵養

どのように学ぶか
(アクティブ・ラーニングの視点から
の不断の授業改善)

学習評価の充実
カリキュラム・マネジメントの充実

生きて働く「知
識・技能」の習得

未知の状況にも対応で
きる「思考力・判断
力・表現力等」の育成

1 今次学習指導要領と総合的な学習の時間

育成を目指す資質・能力の3つの柱

学びを人生や社会に生かそう
とする「学びに向かう力や
人間性」の涵養

どのように学ぶか
(アクティブ・ラーニングの視点から
の不断の授業改善)

学習評価の充実
カリキュラム・マネジメントの充実

生きて働く「知
識・技能」の習得

未知の状況にも対応で
きる「思考力・判断
力・表現力等」の育成

1 今次学習指導要領と総合的な学習の時間

アクティブ・ラーニング

課題の発見・解決に向けた
主体的・協働的な学び

(教育課程企画特別部会 論点整理)

2015年8月

1 今次学習指導要領と総合的な学習の時間

国内外の様々な学力観

「生きる力」 (1996)
「PISA学力」 (2000～)
「キー・コンピテンシー」 (2002)
「人間力」 (2003)
「社会人基礎力」 (2006)
「学力3要素」
「総合的な学習」 (2008)
「学士力」 (2008)
「基礎的・汎用的」 (2011)
「成人力」 (2013)
「21世紀型能力」 (2013)

問題解決力

**対人関係
力・協調
性・コミ
ニユケー
ション力**

**自律性・主
体性**

1 今次学習指導要領と総合的な学習の時間

アクティブ・ラーニング

課題の発見・解決に向けた
主体的・協働的な学び

(教育課程企画等種別委員会 論点整理)

学習の形態や方法の改善にとどまらない。このような生き方のできる人を育む。

1 今次学習指導要領と総合的な学習の時間

総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、**よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力**を次のとおり育成することを目指す。

(1) 探究的な学習の過程において、**課題の解決に必要な知識及び技能**を身に付け、**課題に関わる概念**を形成し、**探究的な学習のよさを理解**するようにする。

(2) **実社会や実生活の中から問い**を見だし、**自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現**することができるようにする。

(3) 探究的な学習に**主体的・協働的に取り組む**とともに、**互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画**しようとする態度を養う。

1 今次学習指導要領と総合的な学習の時間

アクティブ・ラーニング

課題の発見・解決に向けた
主体的・協働的な学び

(教育課程企画特別部会 論点整理)

2015年8月



主体的・対話的で深い学び

(教育課程企画特別部会 審議のまとめ)

2016年8月

2 総合的な学習の時間と言語活動

言語活動の充実の継続

- ① 体験から感じとったことを表現する。
- ② 事実を正確に理解し伝達する。
- ③ 概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。
- ④ 情報を分析・評価し、論述する。
- ⑤ 課題について、構想を立てて実践し、評価・改善する。
- ⑥ 互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。

中教審答申（2008年1月）

2 総合的な学習の時間と言語活動

学習の基盤としての言語活動

基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努めること。その際、児童（生徒）の発達の段階を考慮して、**児童（生徒）の言語活動など、学習の基盤をつくる活動**を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、児童（生徒）の学習習慣が確立するよう配慮すること。

総則 第1の2の(1)

2 総合的な学習の時間と言語活動

総合と言語活動の相乗効果

- ①身近な地域や学校、家庭で様々な体験活動を通して感じ取ったことを他者に伝えたいとなる。
- ②調べて分かったことを責任をもって**正確に伝えよう**とする。
- ③様々な集めた**情報を整理・分析**し、それらを元に**自分の考えをまとめよう**とする。
- ④地域の課題解決や活性化のために、**構想・計画を立て、実施・評価・改善を繰り返す**。
- ⑤様々な活動場面で**互いの考えを伝え合い、自己や集団の考えを発展させる**。

言語活動が必然を伴って活性化することで、総合的な学習の時間が充実するとともに、子どもの言語能力が定着する。

2 総合的な学習の時間と言語活動

総合における「深い学び」

豊かな
体験による
リアルな
情報

身近な
多様な
立場の
人からの
情報

本やイン
ターネット、取材
による地
域以外の
情報

それま
での体
験や学
びから
の情報

各教科
等で習
得した
知識や
技能

③各教科等で習得した知識や考え方を活用した「見方・考え方」を働かせて、学習対象と深く関わり、問題を発見・解決したり、自己の考えを形成し表したり、思いを基に構想・創造したりする「深い学び」

2 総合的な学習の時間と言語活動

例えば

高齢者一人ひとりのための
「避難マップづくり」 (総合5年)

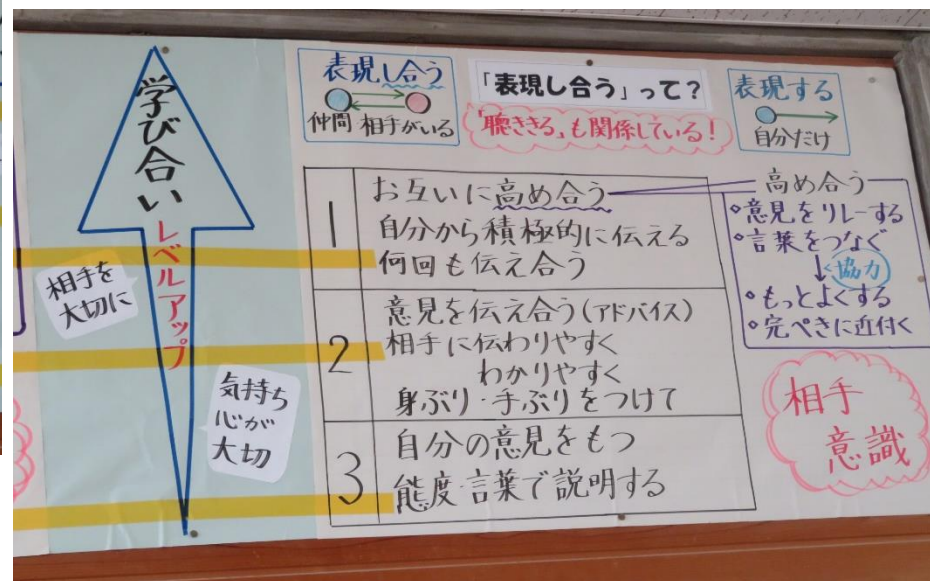
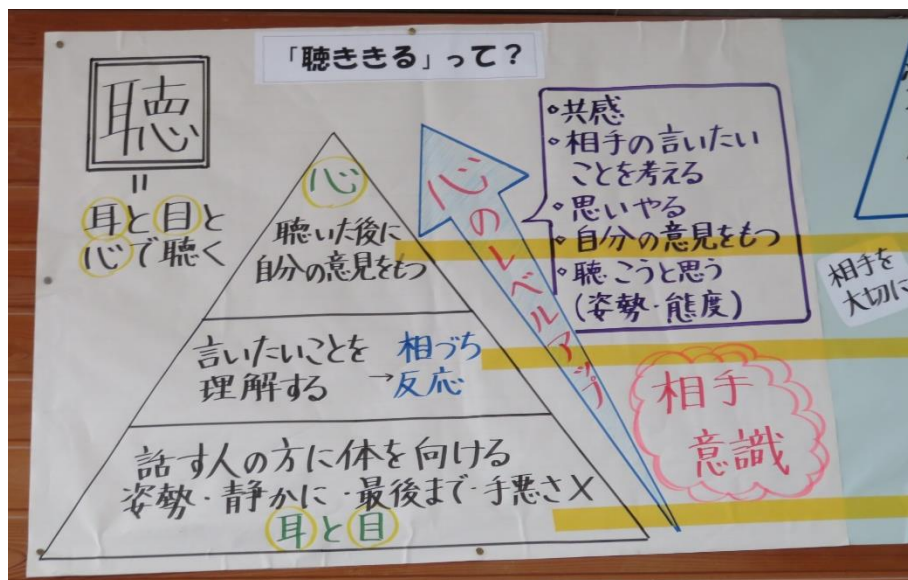
高齢者福祉 (総合4年)

町たんけんや地域の多様な人とのか
かわり (生活科1・2年)

2 総合的な学習の時間と言語活動

子どもたちによる言語活動の充実

6年生

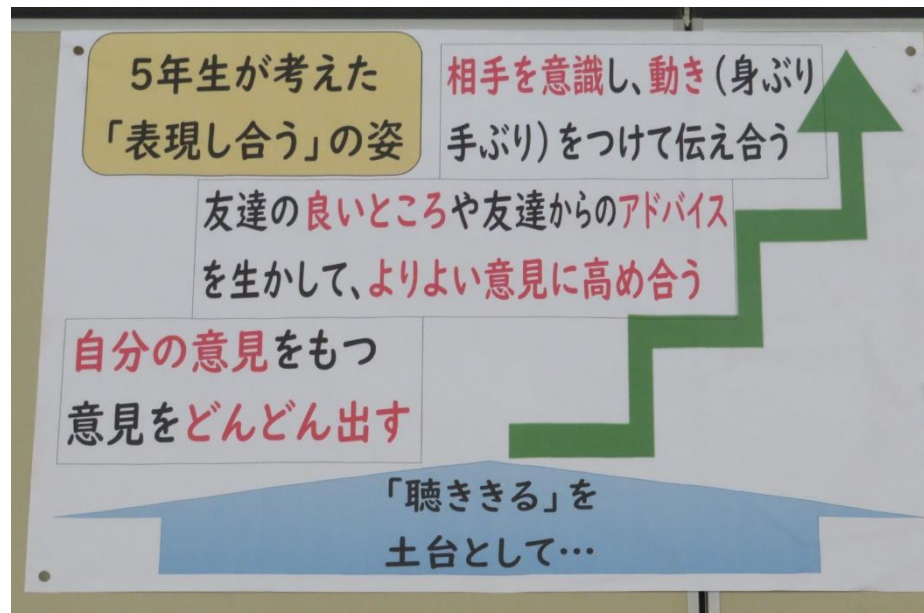
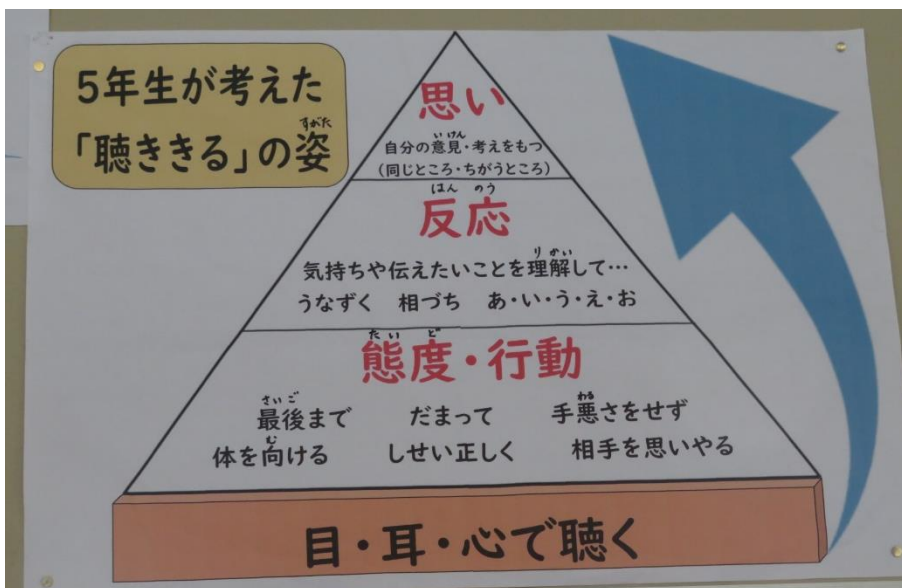


6年生が各学年に「学習の基盤」である望ましい「聴ききる」「表現し合う」を提案

2 総合的な学習の時間と言語活動

子どもたちによる言語活動の充実

5年生

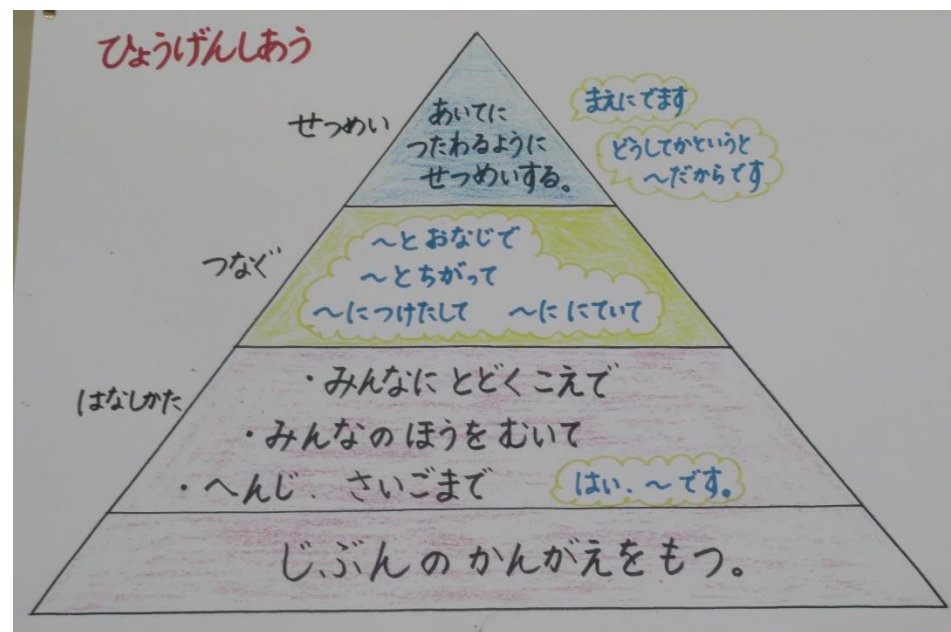
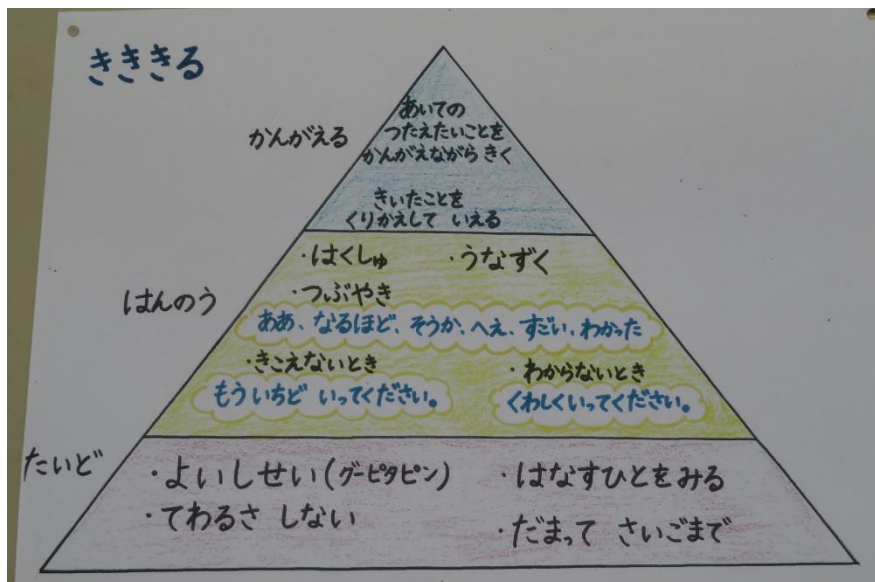


全学年がそれに呼応し、ワークショップで、望ましい「聴ききる」「表現し合う」を整理

2 総合的な学習の時間と言語活動

子どもたちによる言語活動の充実

1年生



全学年がそれに呼応し、ワークショップで、望ましい「聴ききる」「表現し合う」を整理

3 カリキュラム・マネジメントと総合的な学習の時間

育成を目指す資質・能力の3つの柱

学びを人生や社会に生かそう
とする「学びに向かう力や
人間性」の涵養

どのように学ぶか
(アクティブ・ラーニングの視点から
の不断の授業改善)

学習評価の充実

カリキュラム・マネジメントの充実

生きて働く「知
識・技能」の習得

未知の状況にも対応で
きる「思考力・判断
力・表現力等」の育成

3 カリキュラム・マネジメントと総合的な学習の時間

カリキュラム・マネジメント

○教育課程とは、学校教育の目的や目標を達成するために、教育の内容を子供の心身の発達に応じ、授業時数との関連において総合的に組織した学校の教育計画。

○学習指導要領等を受け止めつつ、**子供たちの姿や地域の実状**等を踏まえて、**各学校が設定する学校教育目標を実現**するために、学習指導要領等に基づき教育課程を編成し、それを**実施・評価し改善**していくこと。

3 カリキュラム・マネジメントと総合的な学習の時間

カリキュラム・マネジメントの3側面

- i) 各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校教育目標を踏まえた**教科等横断的な視点**で、その目標の達成に必要な**教育の内容を組織的に配列**していくこと。
- ii) 教育内容の質の向上に向けて、子供たちの姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のP D C A サイクルを確立すること。
- iii) 教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせること。

3 カリキュラム・マネジメントと総合的な学習の時間

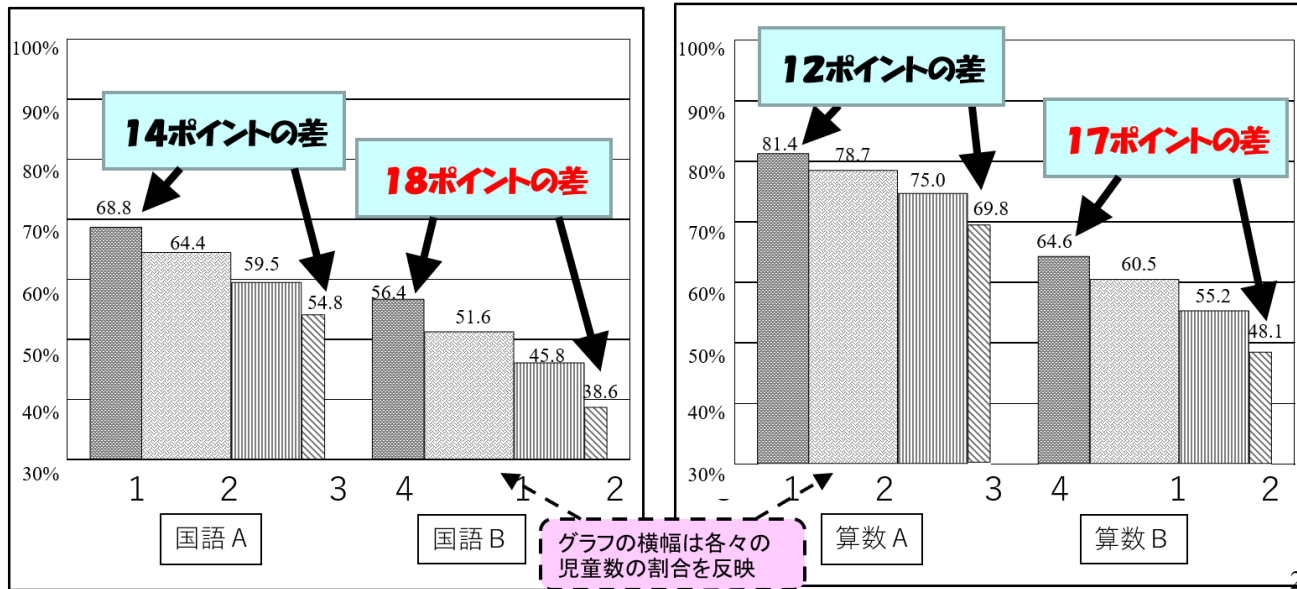
総合的な学習の時間と学力

H25全国学力・学習状況調査（小学校6年生）

「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて、情報を集めて整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」の回答と平均正答率のクロス集計

* 「1 当てはまる」 「2 どちらかといえば、当てはまる」

「3 どちらかといえば、当てはまらない」 「4 当てはまらない」



「総合的な学習の時間」の趣旨に即した活動に取り組んでいる児童ほど、平均正答率（特にB問題）が高い。

3 カリキュラム・マネジメントと総合的な学習の時間

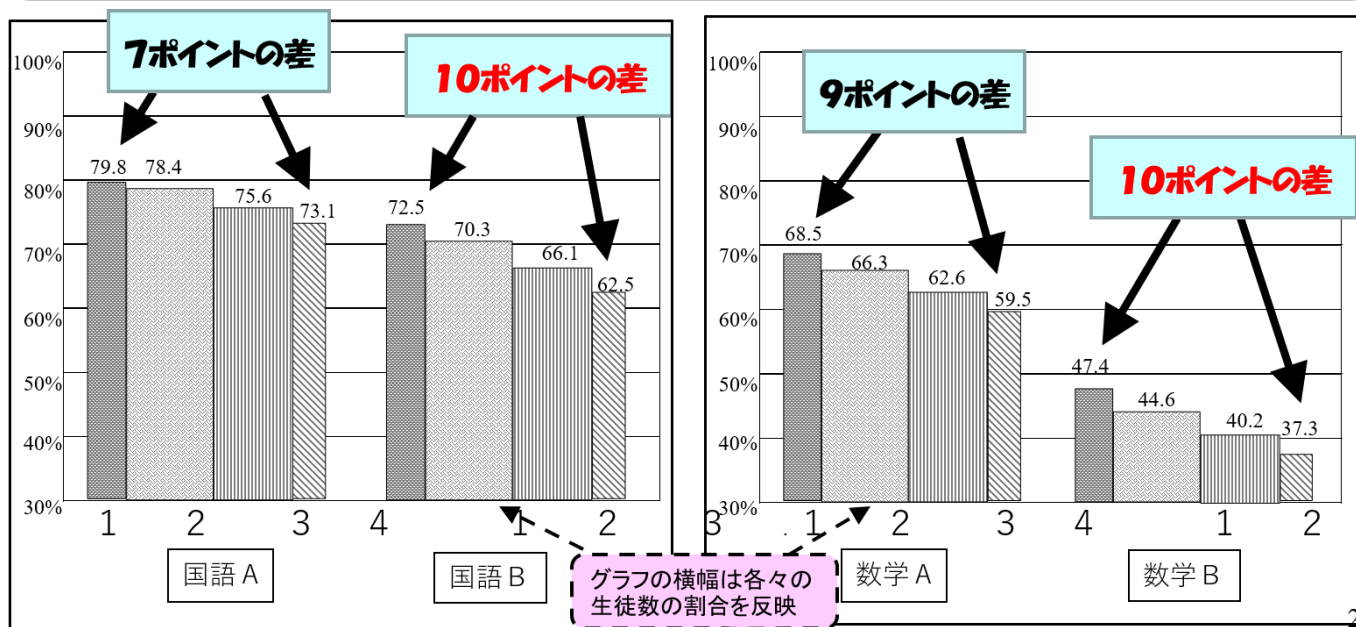
総合的な学習の時間と学力

H25全国学力・学習状況調査（中学校3年生）

「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて、情報を集めて整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」の回答と平均正答率のクロス集計

* 「1 当てはまる」 「2 どちらかといえば、当てはまる」

「3 どちらかといえば、当てはまらない」 「4 当てはまらない」



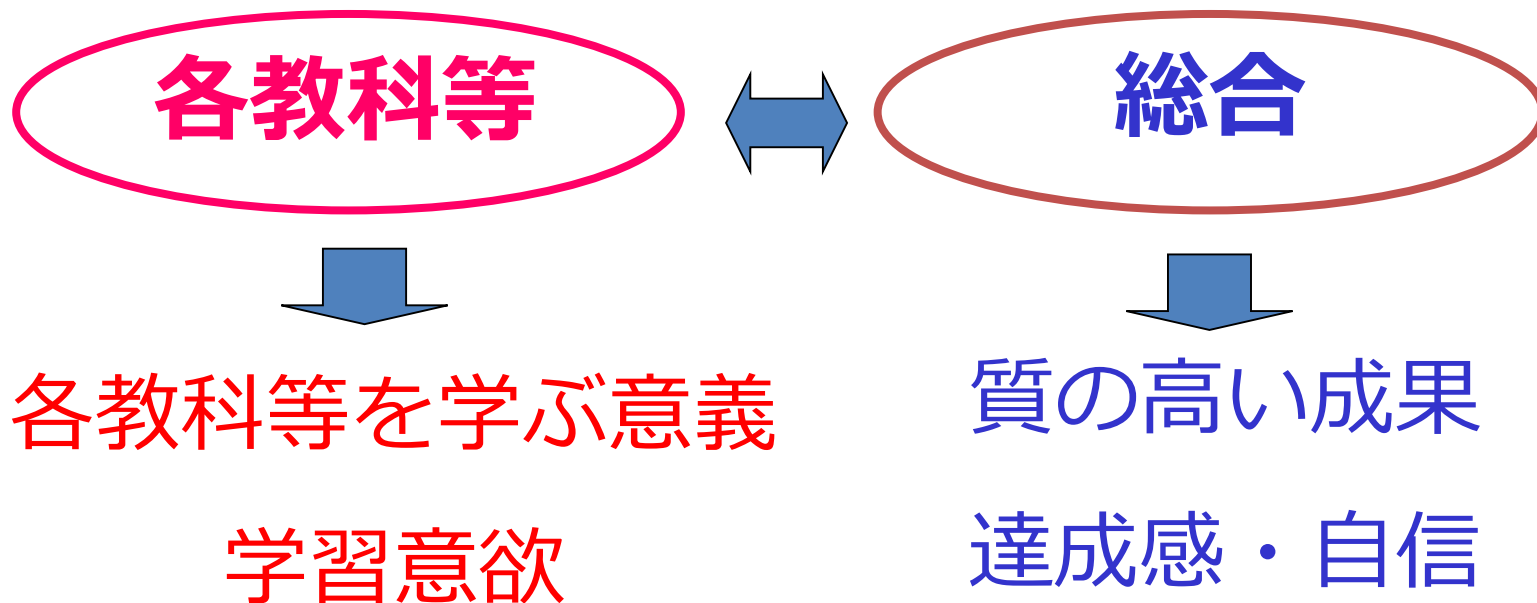
「総合的な学習の時間」の趣旨に即した活動に取り組んでいる児童ほど、平均正答率（特にB問題）が高い。

3 カリキュラム・マネジメントと総合的な学習の時間

各教科等と総合の相乗効果

教科－習得・活用

総合－探究・（活用）



3 カリキュラム・マネジメントと総合的な学習の時間

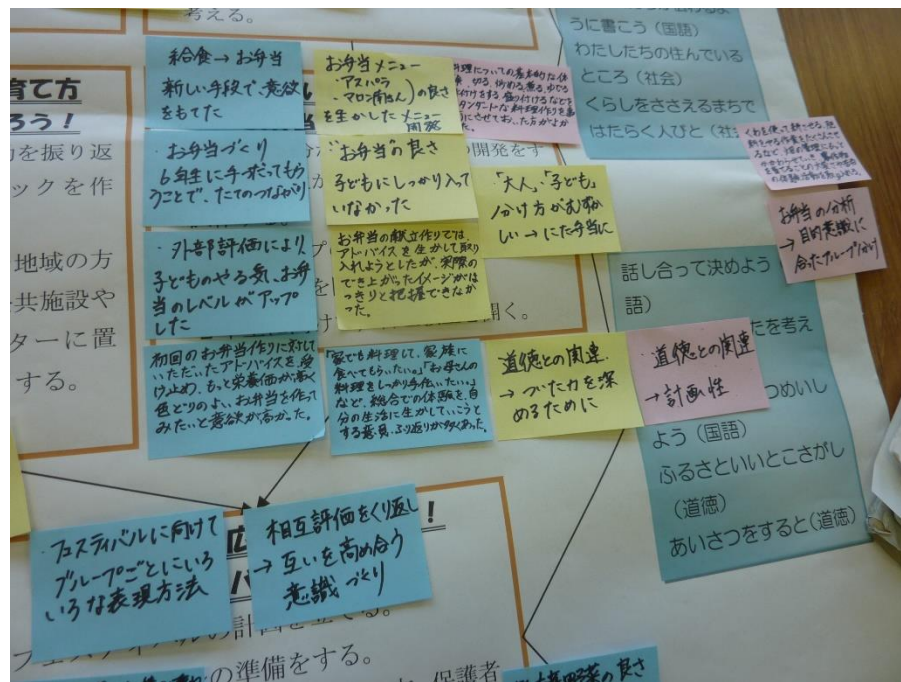
カリキュラム・マネジメントの3側面

- i) 各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校教育目標を踏まえた教科等横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していくこと。
- ii) 教育内容の質の向上に向けて、子供たちの姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連の **P D C A サイクル** を確立すること。
- iii) 教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせること。

4 総合的な学習の時間と校内研修

指導計画の見直しワークショップ

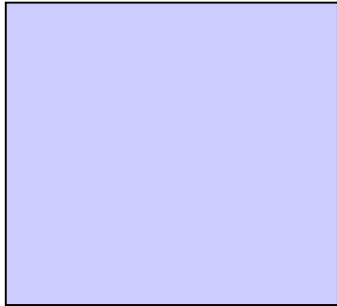
カリマネ【側面ii】 PDCAサイクルのC にかかわる研修



1年間の取組を振り返り、
子どもの成果物やファイル
も紐解いて、年間指導計
画・単元計画を見直す。

4 総合的な学習の時間と校内研修

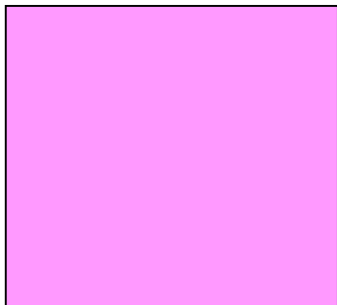
指導計画の見直しワークショップ



よかった。来年も続けるべき。



**上手くいかなかった。
やめてもいいかな。**



来年はこうしたらどうかな。

4 総合的な学習の時間と校内研修

総合のカリマネのPDCAサイクル

R5年2・3月：DCA



R5年4・5月：AP



R6年2・3月：DCA



授業の質
的向上

子ども・
地域の実
態の反映

広義の学
力向上

4 総合的な学習の時間と校内研修

カリキュラム・マネジメントの3側面

- i) 各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校教育目標を踏まえた教科等横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していくこと。
- ii) 教育内容の質の向上に向けて、子供たちの姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立すること。
- iii) 教育内容と、教育活動に必要な**人的・物的資源等を、地域等の外部の資源も含めて活用**しながら効果的に組み合わせること。

4 総合的な学習の時間と校内研修

フィールド・ワークショップ

カリマネ【側面iii】 にかかわる研修



年度始めに、みんなで親睦を兼ねて、校区内を散策する。施設の人の話を聴いたり、活用方法を協議する。

4 総合的な学習の時間と校内研修

地域素材の教材化ワークショップ



学年テーマが決まった頃に、教科書や関連資料、インターネットに繋がった端末を持ち寄り、ウェビングを行い、学習活動等のアイデアを広げ、整理する。

カリマネ【側面ii】
PDCAサイクルのP
にかかわる研修



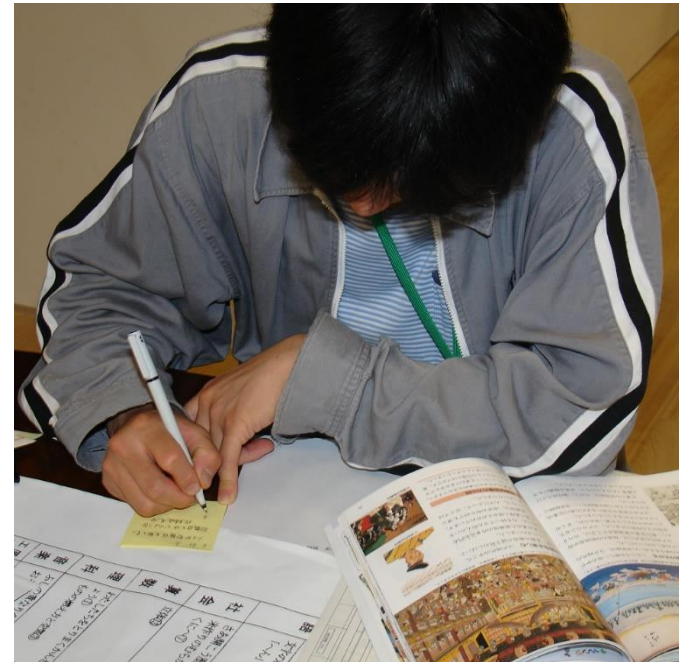
4 総合的な学習の時間と校内研修

各教科等との関連ワークショップ



年間指導計画が固まった頃に、教科書や資料を持ち寄り、総合的な学習の時間を中心に、各教科等間の目標・内容の関連を整理する。

カリマネ【側面ⅰ】
にかかわる研修

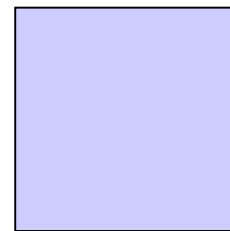


4 総合的な学習の時間と校内研修

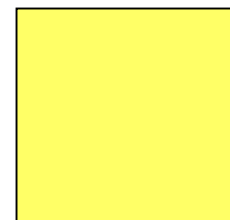
指導計画の見直しワークショップ

カリマネ【側面ii】

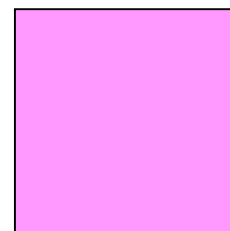
PDCAサイクルのCにかかわる研修



よさ



課題

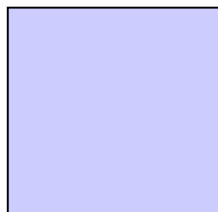


助言

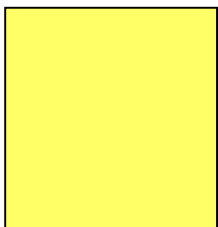
4 総合的な学習の時間と校内研修

指導計画の見直しワークショップ

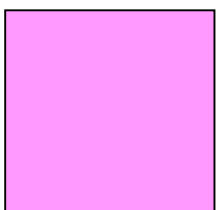
【側面 ii】



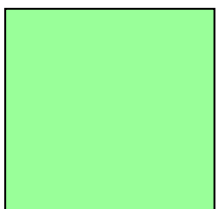
活動の工夫（特に体験的）



教科等との関連【側面 i】



地域を含む人材活用【側面 iii】



ICT活用

カリマネの3側面
全てを包括した研修に

○村川雅弘『子どもと教師の未来を拓く 総合戦略55』（教育開発研究所、2021）

○村川雅弘・吉富芳正・田村知子・泰山裕編著『カリキュラム・マネジメント 実現への戦略と実践』（ぎょうせい、2020年）

○村川雅弘編集『カリマネ100の処方』（教育開発研究所、2018）

○村川雅弘『ワークショップ型教員研修 はじめの一步』（教育開発研究所、2016）